

元調査官×実務のプロが語る!

移転価格税制 《第二回》

～「寄附金課税」か「移転価格課税」か、調査の現場と典型事例～

講演
内容

- 寄附金課税と移転価格課税の基本と違い
- 調査現場で問題となる国際取引の典型事例
- 算定方法の違いとアプローチ
- 税務調査官の志向と思考

海外取引の税務調査で重要となる「寄附金課税」は、移転価格課税と異なり二重課税を回避する「相互協議」が適用されません。本シリーズ第二回では、税務調査の現場で頻発する「移転価格か?それとも寄附金か?」という点に焦点を当て、調査官がどのように考えているか、その志向について解きほぐしていきます。元調査官と、国際税務のプロが、時価と独立企業間価格の境界線や、実務で頻出する典型事例(無償の役務提供、無利息貸付等)を交え、「当局の指摘をどう回避し、実務としてどう正しく処理すべきか」という基本的仕組みを対談形式で解説します。単なる法令解説に留まらない、調査現場のリアルな視点と実務のポイントをお届けします。

視聴可能期間

2026年8月27日(木) 11:30～9月2日(水) 17:00

※講演時間は約30分となります。

お申し込み期限

8月26日(水) 17:00

参加費

無料

⚠ 移転価格税制に関するコンサルティングをされている企業様は、ご参加をお断りする場合がございますのでご了承ください。

講師



辻・本郷 税理士法人 グローバルカンパニー
シニアパートナー 税理士

酒井 啓二 (さかい けいじ)

大手信託銀行での勤務を経て、平成5年に会計事務所(現:辻・本郷 税理士法人)に入所。同8年に税理士登録。現在は辻・本郷 税理士法人のシニアパートナー(国際税務担当)を務める。中・大規模のオーナー企業を中心に、個人・法人申告、グループ再編、相続対策、事業承継コンサルティング、海外展開に伴う国際税務コンサルティングを手掛けており、特に、移転価格税制に関する専門知識と豊富な経験を有し、クライアントの国際取引に伴う税務リスクの最小化や税務効率の最大化を支援している。



辻・本郷 税理士法人 顧問
上野嘉一税理士事務所 税理士

上野 嘉一 (うえの よしかず)

国税庁調査課および東京国税局調査部にて、国際課税(主に移転価格調査や事前確認審査)に約21年間従事。また、シンガポールに長期出張者として2年間滞在したほか、税務訴訟の国側代理人として大型国際訴訟事件を2年間担当した実績を持つ。移転価格課税にとどまらず、租税条約を含む非居住者課税や外国子会社合算課税にも精通している。

詳細・お申し込み

https://form.k3r.jp/ht_tax/260827



辻・本郷 税理士法人
HONGO TSUJI TAX & CONSULTING

〒160-0022 東京都新宿区新宿 4-1-6 JR新宿ミライナタワー 28階

<https://www.ht-tax.or.jp>

辻・本郷

検索